

ひよこ組 クラスだより

2019年 8月 9日 (金)



真夏のまぶしい日差しがチクチク感じるほど暑い日が続いていますが、涼しい室内で子どもたちは気持ちよく過ごしています。廊下では小走りやよちよち歩き、伝い歩きとそれぞれ発達は違いますが、好奇心いっぱいに探索し、楽しみながら行動範囲を広げていくようになりました。

夏風邪や暑さで体温調節の難しいこともあります、子どもたちが体調をくずさないよう注意しながら、お茶やスープ、牛乳などの水分を十分に取り、ゆったり休憩することを大切にしています。

8月はお盆休みやお祭り、お出かけなど楽しいことが多いと思います。元気で夏を乗り切って楽しく過ごしてください。

★初めての水遊び 気持ちいいね。

タライの汲んでいた水が太陽の熱でお湯になり、お風呂みたいになりましたが、牛乳パックのジョーロやカップで水を汲んだり、かき混ぜたり、手でバシャバシャはね散らしたりして、遊びました。



※牛乳パックに少し大きめの穴を開けるだけでジョーロになります。



★親子で手遊び「パン パン パン屋さん」

お子さんを膝に乗せ、向かい合って遊びましょう。

パンパン パン屋さんにお買い物・・・手を叩きます
サンドイッチにメロンパン・・・ほっぺをはさみ、目を指します
ねじりドーナツ、パンのみみ・・・鼻をつまみ、耳もつまむ
チョコパンふたつくださいな・・・子どものおなかや首をくすぐる



★ ねえねえ 一緒に遊ばない?

子どもたちが、お互いに遊んでいる様子や、持っている玩具に関心を持つようになりました。
欲しいなど玩具を取ります。取られた子どもは“あれ?”と探し、取った相手が持っているのを見つけると取り返します。すると、また相手が取ります。この繰り返しが続きますが、取られまいと手を後ろに隠したり、トコトコと歩いて持って逃げていくこともあります。

取り合いのけんかにはまだなりません。玩具への関心が長く続かず、すぐに他の玩具に関心が移るからです。

でも、自己主張が少しずつ表れてきていますので、子どもたちの気持ちや要求を大事に受け止め、玩具の数を増やしたり遊び方を工夫して遊びたいと思います。
友だちと関わりながら面白さや楽しさを感じることが出来るようになっていくと思います。

♪ からだが、どんどん動いちゃうよ♪

「わあーお」の曲は子どもたちが大好きです。

CDからメロディが流れはじめると、笑顔になってリズムに合わせて手を振ったり、お尻をトントン浮かせたり、膝をピョコピョコ曲げたりして踊ります！踊る動作が上手になってきています。「おもしモチモチ」や「クレヨンロケット」も少しずつ振りを覚えているところです！

(福岡 有菌 尾崎)



第5号

2019.8.9(金)

「水遊び」

毎日、夜、寝苦しい程の暑い日が続いています。すみれ組は、2階のテラスにタライや洗面器、バケツ、水遊び用の玩具を出して、水遊びをしています、初めは、本当に濡れていいかしら?と、心配そうな表情の子どもたちでしたが、回を重ねる度に、水遊びが好きになり、「気持ちいいね~」「お水バシャバシャやね」「つめたーい」と、言いながらアイスのカップや牛乳パックの入れもので、タライの水をくったり、氷の製氷機にカメやアヒルの水遊び玩具を一つずつ並べて遊んでいました。保育士がシャワーで水をまくと、「きゃー」や「せんせー」と、声をあげながら喜んでいます。子ども達の明るい声を聞いて トンボが遊びに来ました。水遊びをしている間、子どもたちと楽しみながら見守っているようでした。

保護者の皆様にはロッカーの着替えの補充にご協力していただきありがとうございました。



「一緒に作ろう」

レゴブロックは、すみれ組の子ども達に人気です。はじめは、正方形や長方形のブロックを、高く重ねたり、長くつなげたり、動かしたりして遊ぶだけでしたが最近は、いろんな乗り物に見立てて、友だちと一緒に作るようになってきました。一人遊びから、少しずつ友だちと、一緒に作っていく面白さや楽しさが、分かるようになってきたのかなと、思います。お互いが刺激を受けて、遊びの展開が出来るようになってきている様子に、クラスの子どもの育つ姿を感じています。



「誰のダンゴムシ?」

テラスで遊んでいる時、ダンゴムシを見つけては、「もものダンゴムシ」や「さつちゃんのダンゴムシ」「違う、けんけんのダンゴムシ」と言っていたので、私も「先生のダンゴムシ」と、言ってみました。すると、子どもたちが、私の顔を見ては、「違う、ゆめのダンゴムシ」「ゆうまの」と自分だけのものにしたいという思いを表していました。みんなのものではだめなのですね。この気持ちをどう満たしましょうか?

大好きな絵本の紹介

「おまつりおばけ」



最近の子どもたちのブームは、おばけです。おばけの家族が、夏祭りに行こうと支度をしていると、あやしい男におばけの子ども達がつれていかれてしまうというお話です。あやしい人が出てくる場面では、「先生、おるよ」や「あー、来たよ」と、子ども達が必死で危ない事を教えてくれます。おばけの両親が、あやしい人を捕まえて、子ども達が助かると「良かったねー」と、子ども達はほっとした表情になります。絵本の内容や、言葉の意味がよく分かっていて驚かされます。



2019.08.09(金)

毎日、暑い日が続いています。園庭では「ミーン、ミーン」とセミが合唱しています。その声に負けない子どもたちの元気な声が保育室に響いています。暑くても元気いっぱいの子どもたちと一緒に夏を乗り切っていこうと思います。



水遊び楽しいね！！

7月25日、30日と水遊びをしました。タライに入ったおもちゃの魚をすくったり、カップを使って水を移したり、思い思いに遊んでいました。保育士がシャワーをかけると「雨みたい！」とシャワーから出る水の下にかかりに来っていましたよ。

8月1日は色水遊びをしました。一晩、冷凍庫で凍らせた色水の氷を紙皿に入れると、すぐに手を伸ばし「冷た～い！」と子どもたち。手に乗せて溶けていくと不思議そうにしていました。凍っていた色水が溶けるのを見て「オレンジジュースみたい」「いちごジュースよ」とジュースに見立て喜んでいました。

去年の水遊びでは水を怖がっていた子どもが、今年は水の感触を楽しんでいる姿に成長を感じました。



絵本の紹介

「きよだいな きよだいな」

広い野原の真ん中にはきよだいなピアノやせっけんや電話など、生活で目にするものがあります。そこへ子どもが100人やってきて、きよだいなもので遊ぶお話です。



「あったとさ、あったとさ…」と繰り返し出てくるフレーズを覚え保育士と一緒に言っている子どもたち。きよだいなトイレットペーパーや扇風機が出てくると「トイレにあるのと一緒にやん」「扇風機もあそこにあるよ」など、お友だちと話しながら見ています。



発行：令和元年8月9日（金）

連日厳しい暑さが続いているが、真夏の太陽にも負けず、水遊びや泥遊びなど夏ならではのあそびを満喫し、元気いっぱいの子どもたち。パワー全開の子どもたちは、「〇〇くんがたたいた」「玩具をかしてくれない」などのトラブルも…。少しずつですが自分の思いを、自分なりの言葉で伝えることが出来るようになってきています。お互いに主張したり、相手の気持ちに気付いて、時には我慢したりしながら、認め合う気持ちが育つよう、子どもたちのパワーに負けずサポートしていきたいと思っています。



泥んこって気持ちいいな～

朝から「今日は泥遊びする？」「水遊びはまだ？」と夏ならではの遊びを楽しみにしている子どもたち。3歳以上児になって初めての泥遊びでは、服に泥がつくことを気にしながら、カップやバケツに砂を入れ、「ケーキが出来たよ」「泥ジュースができた！」とあそんでいた子どもたちでしたが、あそびに夢中になってくると、手や足で触るだけでなく泥の上に座ってみたりし「泥んこ冷たくて気持ちいいー！」「見て！どろどろ～！」と泥だらけになりながら水や泥の感触を味わっていました。水や泥の感触は、子どもたちの心を開放してくれるようです。



熱中症予防のため、炎天下での戸外遊びは避け、こまめに水分補給をすることを心がけています。暑くなると、食欲が落ちたり、睡眠不足になったりして、夏バテしやすくなります。生活リズムを整えて、暑さを乗り切りましょう！

いらっしゃいませ～ひんやりアイス屋さんでーす♪

暑い日が続いていたので、氷絵の具をつくり、氷の感触や気持ちよさを味わって遊ぶことができたらと思い、前日に子どもたちと一緒に“みんなでアイスをつくろう”と絵の具で色水をつくりました。それそれが「チョコアイスが好きだから茶色にする」「イチゴアイスにしようかな～」と好きな色水を製氷機に入れカラフルな氷絵の具をつくりました。氷絵の具の完成が待ちきれない様子の子どもたちは、昼食後やお昼寝の後も「アイスできた？」と保育士に何度も確かめていました。

そして次の日。いよいよ、氷絵の具で遊ぶ日です。朝から「早くアイスで遊びたーい」「カチコチになってるかな？」とウキウキの子どもたち。カラフルな氷に「うわーきれい！」「本物のアイスみたい！おいしそう！」と目を輝かせ、それぞれが好きな色の氷を取ると「気持ちいいー」と両手で握ったり、身体にくっつけてみたりしていました。子どもたちは暑さも忘れ「アイス屋さんでーす。ひんやりですよ～」「何アイスにしますか？」と涼しげな表情でアイス屋さんごっこを楽しんでいました。





ひまわりだよ!

令和1年8月9日(金)

梅雨が明け、夏空の青さと入道雲の白さ、そして蝉の鳴き声が耳に届いてきます。「夏」真っ盛りです。子ども達は『水を得た魚』のように毎日、暑さもへっちゃらで水遊びや泥んこ遊びを楽しんでいます。そしてキュウリやトマト、オクラ、パプリカなどの夏野菜たっぷりの給食を食べぐっすりお昼寝をして、元気いっぱいのひまわり達15名です。

○水遊び楽しいな。

バケツに何度も水を入れて砂場に運んでいたひなた君。5歳児が掘っている大きな穴にドンドン水を溜めています。「先生、もっと入れて!」次第に「先生、ダムを作りよるけ、もっと、もお~っと入れて!」何度も運んで、ダムの水が一杯になると、そこへ入り、足でビチャビチャしていました。体中泥んこになりながら楽しそうに大笑いしていました。

テントの下の泥水の川では、しょうま君とひろむ君が「ゲロゲロ」と鳴き声をだしながら、前日に小川で見た1匹のアマガエルになり、ピョンピョン跳ねていました。見ると顔中泥んこでした。



○ヒマワリ、でっかい!

6月に花畠に種まきをしたヒマワリがグングン育っています。久々に登園し遊戯室へ入ったひかり君が開口一番「うわあ、でっかい。」「何が?」「見て。ヒマワリ。」早速、花畠に行き確かめました。遠くから「あれが一番!」近で見ると、子ども達の顔がヒマワリと同じ様にグーンと上を向いていました。「空まで大きくなってる。」「あれ、僕が植えたんよ。」と賑やかです。みんなでヒマワリの花を育てようと話し合って植えたのです。

先日の台風でのっぽのヒマワリが倒れてしまいました。「先生、起こして。」「かわいそう...」これからも倒れないようにヒマワリをみんなで見守っていこうという事になりました。

○槐田川・茶屋町公園たくさん遊べるよ。

久しぶりに子ども達を連れて、近くの槐田川へ行きました。筏で舟を作り流し競争をしたり、公園横の小川で裸足で石の上を歩いたり、飛び石をピョンピョン跳んで渡ったり、私達が子どもの頃に良く遊んだ昔からの遊びです。「一人で行ってみる。」と、平気で飛び石を渡る姿に、『頑張れ!』と声援を送る保育士です。

木陰で休憩していると、ひなた君が「先生、お金がある。」見ると、小川の藻の中にキラキラ光る1円玉がありました。誰かがお祭りの時に落としたのでしょうか?「そのお金は、水遊びをしているみんなが『無事に遊んで帰れますように!』って誰かが神様にお供えしたんよ。」と知らせると、帰り際に「有難うございました。」とお礼を言いました。

○「ハメハメハ大王」の歌を歌って踊ってるよ。

♪南の島の大王は~♪とエレクトーンに合わせて、ノリノリで表現を楽しんでいる子ども達。最後にお尻をゆらゆらさせてフラダンスをするところになると、みんな笑顔でフリフリしています。中でも一番ノリノリなのが桑原先生です。踊っているだけで楽しくなる歌です。

『先生、「スイカのめいさんち」「ゴリラの歌」「カモメの水兵さん」「バナナの歌」が歌いたい。』と、子どもからのリクエストが多くなりました。

秋になったら静かな曲も歌いたいと思っています。



あみちゃん

ひまわり担任:桑原、中西

2019年8月9日（金）発行

8日に立秋を迎えたが、厳しい残暑で、秋を感じることができるのはまだ先のように思います。雲や動植物を見ながら、季節の移り変わりに気づけるよう過ごしていきたいと思います。

暑さで体調を崩しやすいので、食事・睡眠を十分にとりながら、健康に過ごしていくことを第一にしています。

友達と一緒につくるって楽しいね

水遊び・泥遊びをしていた日のことです。「ここは水が流れる場所ね」や「じゃあ、ここはゴールの水がたまる場所。穴を掘るよ」など意見を出し合う子ども達の声が聞こえてきました。見てみると5人程友達が集まり、砂場で水路を作っていました。

はじめは溝があり、穴がありと単独で分かれており、徐々にそれらが繋がり合い一つの物になっていました。水が流れるように傾斜をつけたり、逆に水を止めたいときは砂で塞いだりと工夫しながら作り、水流しては納得いくまで作り直し、立体化していました。

しかし、溝は砂で作っているため水量が強すぎて壊れてしまうこともしばしば…。「せっかく作ったのに…」と落ち込むのもつかの間。すぐに取り組んで「次はもっと深く掘ってみよう」と壊れないように工夫していました。

子ども達が意見を出し合いながら生き生きと遊ぶ姿を見て、塩ビ管やホースを準備すると更に遊びが発展することが予想され、早速準備することにしました。

今後、この遊びがどのような展開になっていくのか、楽しみです。



朝・夕に水やりやゴミ集めなどのお当番活動することが日課であるたんぽぽ組。8月に入り新たに、おやつの準備と部屋の掃除もすることになりました。

部屋の掃除は、ほうきを使っています。掃くことや、ちりとりに入れることに苦戦している状態ですが、部屋がきれいになるようにと、埃がないか隅々までチェックし清潔になったことを喜んでいます。

自分たちが過ごす部屋、棚、おもちゃは、自分たちで掃除・整理整頓をすることで自立し、自主的な姿が見られるようになりました。



5歳児担任：井上・本嶋